

Star Inbox Driver

ソフトウェアマニュアル

目 次

1. Windows Vista/7 PrinterDriver の設定	2
1.1 デバイスの設定	3
1.1.1 デバイスの設定 機能一覧	4
2. 用紙サイズの設定	9
2.1 標準用紙サイズ	9
2.2 ユーザー定義による用紙サイズの作成	11
3. 印刷色・用紙種類の設定	13
4. 印字品質の設定（ドットプリンタ）	14
5. デバイスフォント	15
5.1 デバイスフォント一覧	15
5.2 バーコードフォント	18
5.2.1 バーコードフォント一覧	18
5.2.2 バーコードフォント 記述方法	19
5.2.3 バーコードフォント パラメーター一覧	20
5.2.4 Microsoft Word におけるバーコード生成手順	21
5.3 コントロールフォント	23
5.3.1 コントロールフォント機能一覧	23
5.3.2 Microsoft Word におけるコントロールフォント使用方法	25
5.4 デバイスフォント 制限事項	27
6. 印刷オプションの設定	28
7. ドキュメントを印刷する際のガイドライン	29
7.1 シリアルインターフェイスで印刷される際のご注意	29
7.1.1 印刷モードの確認	29
7.1.2 プリンタの設定とシリアルポートの設定	29
7.2 Microsoft Word を使用される際のご注意	31
8. 改訂履歴	32

はじめに

本書は、Windows Vista / 7 に対応する Star Inbox Driver において、利用可能な機能について説明しています。

本書が対応する機種は以下の通りです。

対応機種

- SP500 / TSP600 / TSP700 / TSP800 / TUP900 / TSP1000

1. Windows Vista/7 PrinterDriver の設定

各機種・インターフェイス・印刷モードにより、設定できる機能は異なります。

各機種が対応する機能は以下の通りです。

	SP500	TSP600	TSP700	TSP800	TUP900	TSP1000
印刷モード (Raster)	×	○	○	○	○	○
用紙タイプ	○	○	○	○	○	○
電源投入時のブラックマーク位置検出	○	×	○	○	○	○
頭出し機能	×	×	○	○	○	○
ページカット動作	○	○	○	○	○	○
文書カット動作	○	○	○	○	○	○
印字品質	○	○	○	○	○	○
ロゴ印刷	×	○	○	○	○	○
キャッシュドローワ駆動	○	○	○	○	×	×
外部機器駆動	×	×	×	×	×	○
プレゼンタ駆動	×	×	×	×	○	×
印刷方法	○	×	×	×	×	×
2色印字	×	○	○	○	○	○
デバイスフォント	○	○	○	○	○	○
コントロールフォント	○	○	○	○	○	○
バーコードフォント	×	○	○	○	○	○

Point! このプリンタドライバで利用可能な様々な機能は、印刷モード "Raster" と "Line" において設定できる内容が異なります。

本書では、機能名の右側にその機能の設定が行える印刷モードを **Raster** ・ **Line** の表示にてお知らせしています。

また、アプリケーションを起動したままで印刷モード (Raster / Line) の切り替えを行っても、設定が正しく反映されないことがあります。印刷モードの切り替えを行った際には、アプリケーションの再起動を行ってください。

注意： 以下の機種をシリアルインターフェイスでご使用の場合、デフォルト印刷モード "Raster" に対応しておりません。印刷モードの設定を "Line" に変更して使用してください。

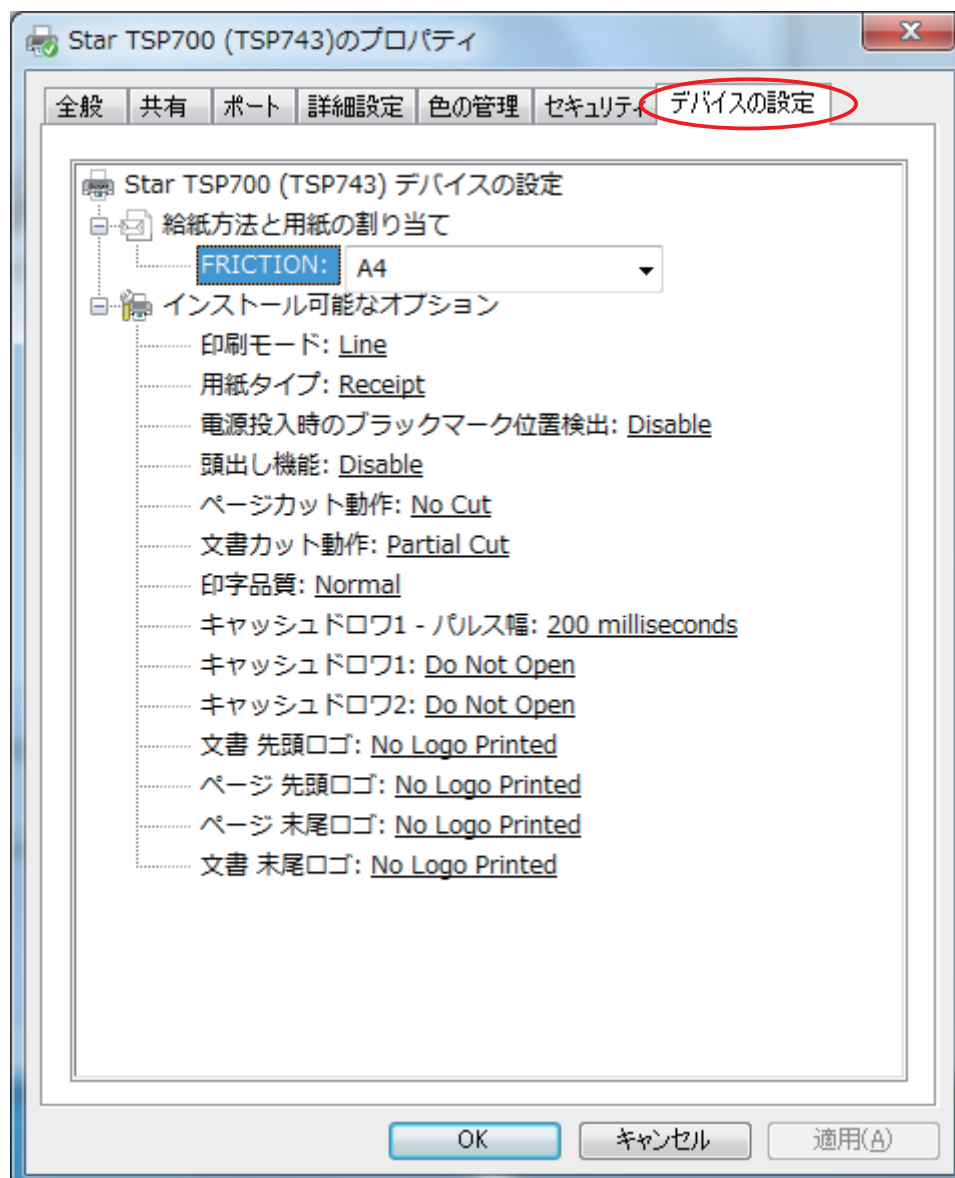
該当機種： TSP600 / TSP700 / TSP800 / TUP900

1.1 デバイスの設定


プリンタのプロパティでドライバの機能を設定することができます。

まず、以下の手順にてプロパティを開きます。

- ① Windows のスタートメニューから、Windows Vista では [コントロールパネル] より [プリンタ] を、Windows 7 では [デバイスとプリンター] を起動します。
- ② 設定するプリンタのアイコンを右クリックしてプルダウンメニューより、Windows Vista では [管理者として実行] - [プロパティ] を、Windows 7 では [プリンターのプロパティ] をクリックします。
- ③ Windows Vista をご使用の場合には、“ユーザアカウント制御画面”が表示されますので、[続行] をクリックします。
- ④ プロパティ画面が開きますので、「デバイスの設定」タブをクリックします。



1.1.1 デバイスの設定 機能一覧

注記： 同時には設定できない機能があります。デバイス設定の項目に  マークが表示された場合には、設定内容を確認してください。

• 印刷モード

Raster

Line

印刷モードの設定をします。

設定値	初期値	詳 細
Raster	<input type="radio"/>	"Raster" に設定します。
Line	<input type="radio"/>	"Line" に設定します。

• 用紙タイプ

Raster

Line

用紙タイプを設定します。

設定値	初期値	詳 細
Receipt	<input type="radio"/>	可変長制御：ページ終端までの余白データは出力しません。
Ticket	<input type="radio"/>	固定長制御：ページ終端までの余白データを余白として出力します。
Black Mark	<input type="radio"/>	ブラックマーク用紙を使用するときを選択します。

• 電源投入時のブラックマーク位置検出

Raster

Line

電源投入時にブラックマーク位置の検出を行う場合に "Enable" に設定します。

「用紙タイプ」に "BlackMark" を選択した時のみ有効となります。

設定値	初期値	詳 細
Disable	<input type="radio"/>	電源投入時にブラックマーク位置検出による紙送りを行いません。
Enable	<input type="radio"/>	電源投入時にブラックマーク位置検出による紙送りを行います。

注記：「用紙タイプ」が "Receipt" または "Ticket" に設定されている時は、使用できません。

・ページカット動作

Raster

Line

最後のページを除いた、すべてのページの終わりに実行される用紙カット方法を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Cut	○	カットおよび用紙送りの動作を行いません。
Partial Cut		カット位置まで用紙を送った後、中央を一点残しカットします。
Full Cut		カット位置まで用紙を送った後、フルカットします。

・文書カット動作

Raster

Line

最後のページに実行される用紙カット動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
No Cut	○	用紙送りの動作を行いません。
Partial Cut		カット位置まで用紙を送った後、中央を一点残しカットします。
Full Cut		カット位置まで用紙を送った後、フルカットします。

・印字品質

Raster

Line

印字品質を設定します。印字品質の設定によって印字速度も変わります。

設定値	初期値	詳 細
Normal	○	印字品質も印字速度も中間的な設定です。
High		印字品質よりも印字速度を優先します。
Best		最高の印字品質を得られますが、印字速度は遅くなります。

注記： カラー印刷設定時、印字速度の設定は無効（一定）となります。
ドットプリンタの印字品質の設定方法は「4. 印字品質の設定（ドットプリンタ）」をご参照ください。

・印刷方法

Line

印刷方法を設定します。
この設定によって印字速度と印字品質が変わります。

設定値	初期値	詳 細
Bidirectional	○	双方向印刷を行います。
Unidirectional		単一方向印刷を行います。

・文書 先頭ロゴ

Line

文書の先頭にロゴを印字する場合、登録されているロゴ（グラフィックデータ）の番号を選択します。
この設定を行う前に、プリンタにロゴを登録しておく必要があります。

設定値	初期値	詳 細
No Logo Printed	○	文書の先頭にロゴを印刷しません。
Print Logo 1 ～ 10		選択された番号のロゴを文書の先頭に印刷します。

注記：「印刷モード」に "Line" 設定時のみ有効です。

・ページ 先頭ロゴ

Line

ページの先頭にロゴを印字する場合、登録されているロゴ（グラフィックデータ）の番号を選択します。
この設定を行う前に、プリンタにロゴを登録しておく必要があります。

設定値	初期値	詳 細
No Logo Printed	○	ページの先頭にロゴを印刷しません。
Print Logo 1 ～ 10		選択された番号のロゴをページの先頭に印刷します。

注記：「印刷モード」に "Line" 設定時のみ有効です。

・ページ 末尾ロゴ

Line

ページの末尾にロゴを印字する場合、登録されているロゴ（グラフィックデータ）の番号を選択します。
この設定を行う前に、プリンタにロゴを登録しておく必要があります。

設定値	初期値	詳 細
No Logo Printed	○	ページの末尾にロゴを印刷しません。
Print Logo 1 ～ 10		選択された番号のロゴをページの末尾に印刷します。

注記：「印刷モード」に "Line" 設定時のみ有効です。

・文書 末尾ロゴ

Line

文書の末尾にロゴを印字する場合、登録されているロゴ（グラフィックデータ）の番号を選択します。
この設定を行う前に、プリンタにロゴを登録しておく必要があります。

設定値	初期値	詳 細
No Logo Printed	○	文書の末尾にロゴを印刷しません。
Print Logo 1 ～ 10		選択された番号のロゴを文書の末尾に印刷します。

注記：「印刷モード」に "Line" 設定時のみ有効です。

・キャッシュドロワ 1（または 2）

Raster

Line

キャッシュドロワ 1（または 2）の動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
Do Not Open	○	キャッシュドロワ 1（または 2）を駆動しません。
Open Before Printing		キャッシュドロワ 1（または 2）を印刷直前に駆動します。
Open After Printing		キャッシュドロワ 1（または 2）を印刷直後に駆動します。

・キャッシュドロワ-パルス幅

Raster

Line

キャッシュドロワ 1 のパルス幅を設定します。

キャッシュドロワ 2 のパルス幅は 200milliseconds で固定です。

設定値	初期値	詳 細
10 milliseconds		パルス幅を 0.01 秒に設定します。
100 milliseconds		パルス幅を 0.1 秒に設定します。
200 milliseconds	○	パルス幅を 0.2 秒に設定します。
300 milliseconds		パルス幅を 0.3 秒に設定します。
400 milliseconds		パルス幅を 0.4 秒に設定します。
500 milliseconds		パルス幅を 0.5 秒に設定します。
600 milliseconds		パルス幅を 0.6 秒に設定します。
700 milliseconds		パルス幅を 0.7 秒に設定します。
800 milliseconds		パルス幅を 0.8 秒に設定します。
900 milliseconds		パルス幅を 0.9 秒に設定します。
1000 milliseconds		パルス幅を 1.0 秒に設定します。
1100 milliseconds		パルス幅を 1.1 秒に設定します。
1200 milliseconds		パルス幅を 1.2 秒に設定します。

・外部機器 1（または 2）の駆動

Raster

Line

外部機器 1（または 2）の動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
Do Not Fire	○	外部機器 1（または 2）を駆動しません。
20milliseconds ~ 5000milliseconds		外部機器 1（または 2）を設定したパルス幅で駆動します。

・プレゼンタモード

Raster

Line

プレゼンタの動作を設定します。

設定値	初期値	詳 細
Loop - Hold - Retract	○	印刷終了後に用紙を排出し、用紙後端を保持して待機します。回収時間を過ぎても用紙が取り除かれない場合は回収します。
Loop - Hold - Eject		印刷終了後に用紙を排出し、用紙後端を保持して待機します。回収時間を過ぎても用紙が取り除かれない場合は全排出します。
NoLoop - Hold - Retract		印刷しながら用紙を排出し、用紙後端を保持して待機します。回収時間を過ぎても用紙が取り除かれない場合は回収します。
NoLoop - Hold - Eject		印刷しながら用紙を排出し、用紙後端を保持して待機します。回収時間を過ぎても用紙が取り除かれない場合は全排出します。
NoLoop - NoHold -Eject		印刷しながら用紙を全排出します。用紙の保持は行いません。

注記：回収時間はプレゼンタ回収時間で設定します。プレゼンタ回収時間で "Do Not Time Out" を設定した場合は、プレゼンタ動作モードの設定に関わらず、用紙が取り除かれるまで待機します。

・プレゼンタ回収時間

Raster

Line

プレゼンタに用紙を保持後、回収または全排出するまでの待機時間を設定します。

設定値	初期値	詳 細
Do Not Time Out	○	用紙が取り除かれるまで待機します。
1 ～ 125 Second		用紙を保持後、回収または全排出するまでの待機時間を設定します。設定単位は 5 秒です。

注記：プレゼンタ動作モードで "NoLoop - NoHold - Eject" を設定した場合は、プレゼンタ回収時間の設定に関わらず、用紙の保持は行いません。

2. 用紙サイズの設定

Raster

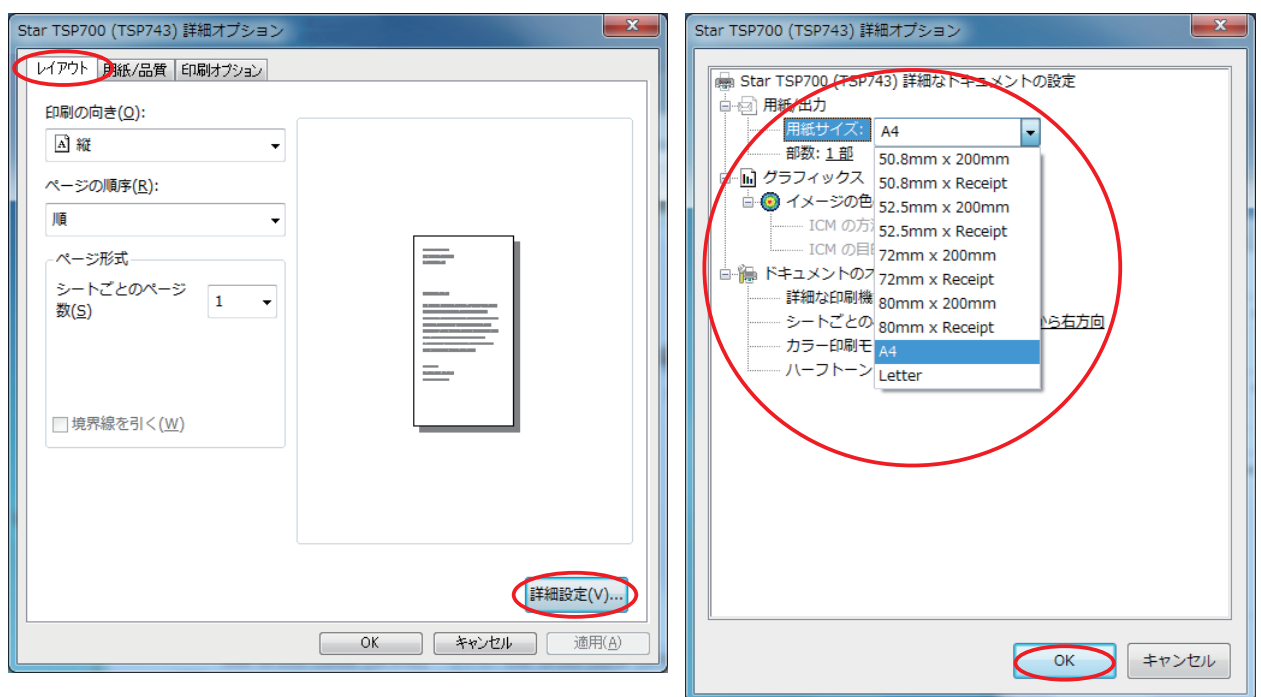
Line

本ドライバでは、あらかじめドライバで定義されている標準用紙サイズと、ユーザーが定義する用紙サイズを使用することができます。

2.1 標準用紙サイズ

用紙サイズの設定は、以下の手順で行ってください。

- ① Windows のスタートメニューから、Windows Vista では [コントロールパネル] より [プリンタ] を、Windows 7 では [デバイスとプリンター] を起動します。
- ② 設定するプリンタのアイコンを右クリックして、プルダウンメニューより「印刷設定」をクリックします。
- ③ [レイアウト] タブより [詳細設定] をクリックして、“詳細オプション” 設定画面より「用紙サイズ」を選択します。


Point!

マージン（余白）を考慮して用紙幅よりも印字幅が小さくなるように設定を行ってください。

各機種であらかじめ用意されている標準用紙サイズは、以下の通りです。

用紙サイズ	対応機種					
	SP500	TSP600	TSP700	TSP800	TUP900	TSP1000
42mm * 200mm						○
42mm * Receipt						○
45mm * 200mm	○					
45mm * Receipt	○					
47mm * 200mm						○
47mm * Receipt						○
48mm * 200mm	○					
48mm * Receipt	○					
50.8mm * 200mm		○	○			
50.8mm * Receipt		○	○			
52mm * 200mm						○
52mm * Receipt						○
52.5mm * 200mm			○			
52.5mm * Receipt			○			
55mm * 200mm						○
55mm * Receipt						○
56mm * 200mm					○	
56mm * Receipt					○	
60mm * 200mm	○					
60mm * Receipt	○					
63mm * 200mm	○					
63mm * Receipt	○					
72mm * 200mm		○	○		○	○
72mm * Receipt		○	○		○	○
80mm * 200mm			○		○	○
80mm * Receipt			○		○	○
104mm * 200mm				○	○	
104mm * Receipt				○	○	
Letter	○	○	○	○	○	○
A4	○	○	○	○	○	○

2.2 ユーザー定義による用紙サイズの作成

Raster

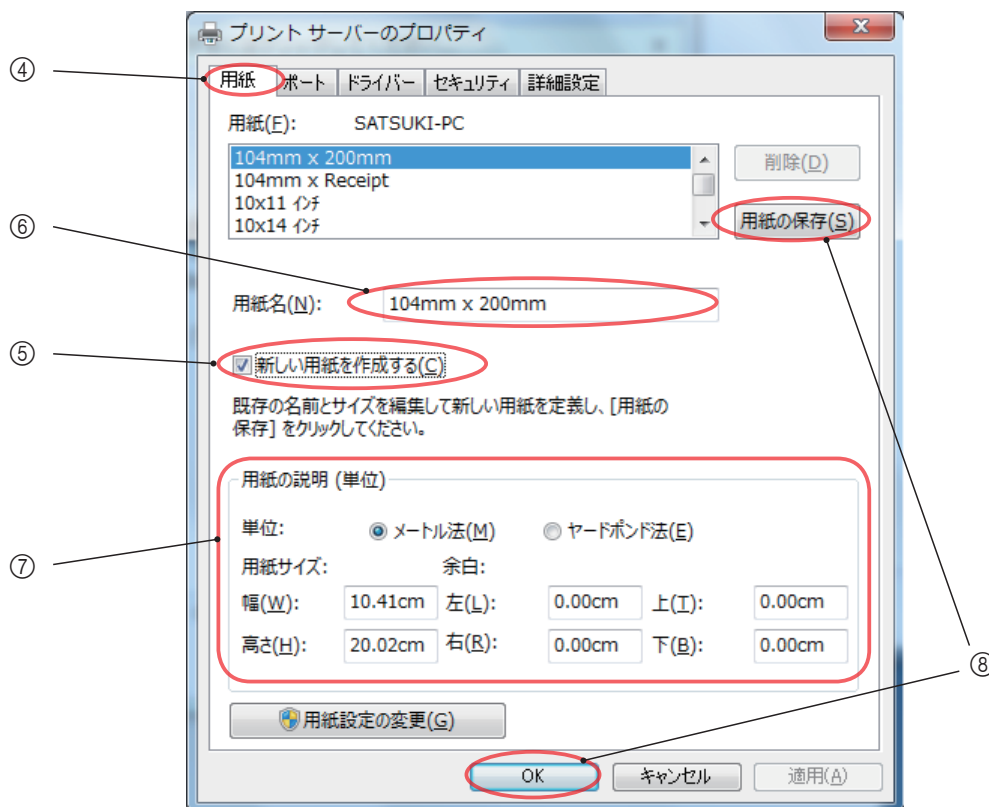
Line

ユーザー定義による用紙サイズの作成は、以下の手順で行います。

- ① Windows のスタートメニューから、Windows Vista では [コントロールパネル] より [プリンタ] を、Windows 7 では [デバイスとプリンター] を起動します。
- ② Windows Vista では、起動したフォルダの余白部分を右クリックしてプルダウンメニューより、[管理者として実行]-[サーバーのプロパティ] をクリックします。Windows 7 では、設定するプリンタのアイコンを選択して、メニューより [プリントサーバープロパティ] をクリックします。
- ③ Windows Vista をご使用の場合は、" ユーザアカウント制御画面 " が表示されますので、[続行] をクリックします。
- ④ [用紙] タブをクリックします。
- ⑤ " 新しい用紙を作成する " のチェックボックスを選択します。
- ⑥ " 用紙名 " に現在表示されている名前を編集して、新しい名前を設定します。
- ⑦ " 用紙の説明 " 内で寸法の単位を選択し、用紙サイズの「幅」と「高さ」を入力します。

注記：余白は、左右・上下すべての値を " 0 " に設定してください。

- ⑧ [用紙の保存] ボタンをクリックします。[OK] ボタンをクリックして画面を閉じます。



各機種で設定可能な用紙サイズは以下の通りです。

対応機種	用紙幅		用紙高さ	
	最小値	最大値	最小値	最大値
SP500	25.4 mm	63 mm	25.4 mm	OS 最大印字高さ ※
TSP600	25.4 mm	72 mm	25.4 mm	OS 最大印字高さ ※
TSP700	25.4 mm	80 mm	25.4 mm	OS 最大印字高さ ※
TSP800	25.4 mm	104 mm	25.4 mm	OS 最大印字高さ ※
TUP900	25.4 mm	104 mm	25.4 mm	OS 最大印字高さ ※
TSP1000	25.4 mm	80 mm	25.4 mm	OS 最大印字高さ ※

※ OS 最大印字高さは、一般に約 3 m（3,000mm）程度です。

Point! ユーザー定義により作成された用紙サイズは、定義された幅と高さがプリンタにとって適切な範囲であれば、各ドライバでの利用が可能となります。

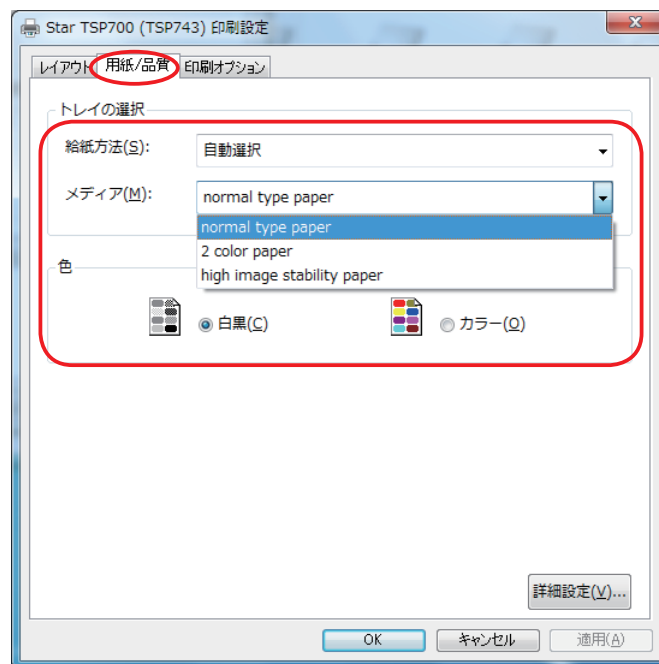
3. 印刷色・用紙種類の設定

Raster

デバイス設定にて「印刷モード」に「Raster」設定時、2色のカラー印刷に対応しています。

2色印刷を行う場合、また、特殊用紙等を使用して印刷を行う場合には、以下の設定を行ってください。

- ① Windows のスタートメニューから、Windows Vista では [コントロールパネル] より [プリンタ] を、Windows 7 では [デバイスとプリンター] を起動します。
- ② 設定するプリンタのアイコンを右クリックして、プルダウンメニューより [印刷設定] をクリックします。
- ③ [用紙 / 品質] タブをクリックします。
指定する印刷色に合った用紙の種類を選択して、以下の設定を行ってください。



■ 通常の黒印刷を行う場合（通常サーマル紙）

メディア : "normal type paper"
色 : "白黒"

■ カラー印刷を行う場合（2色サーマル紙）

メディア : "2 color paper"
色 : "カラー"

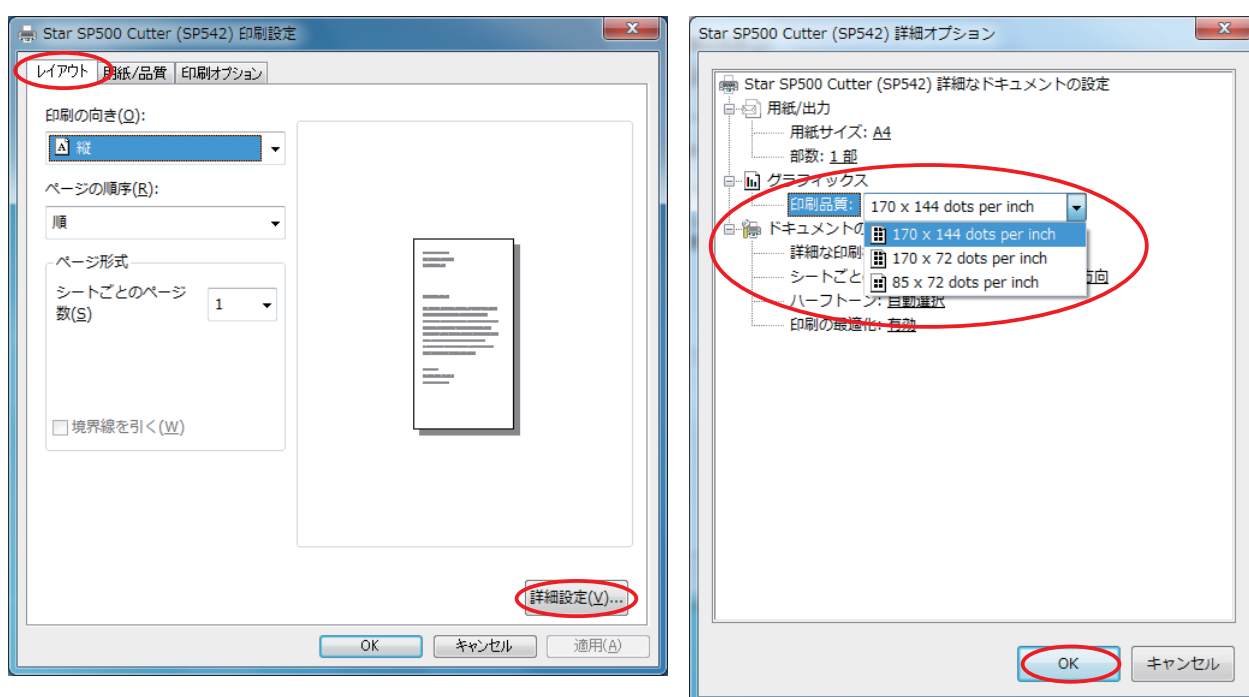
■ 特殊用紙への印刷を行う場合（通常の黒印刷よりも濃い黒印刷 / 一部高保存紙のような特殊用紙）

メディア : "high image stability paper"
色 : "白黒"

4. 印字品質の設定（ドットプリンタ）

ドットプリンタでは、印字品質の設定が行えます。
以下の手順で行ってください。

- ① Windows のスタートメニューから、Windows Vista では [コントロールパネル] より [プリンタ] を、Windows 7 では [デバイスとプリンター] を起動します。
- ② 設定するプリンタのアイコンを右クリックして、プルダウンメニューより「印刷設定」をクリックします。
- ③ [レイアウト] タブより [詳細設定] をクリックして、“詳細オプション” 設定画面より「印字品質」を選択します。



印字品質で設定可能な内容は以下の通りです。

設定値	初期値	詳細
170 x 144 dots per inch	○	幅：170dpi 縦：144dpi で印刷します。
170 x 72 dots per inch		幅：170dpi 縦：72dpi で印刷します。
85 x 72 dots per inch		幅：85dpi 縦：72dpi で印刷します。

5. デバイスフォント

Line

本プリンタドライバは、プリンタに内蔵される様々なデバイスフォントに対応しています。

プリンタフォントには、いくつかのフォントサイズが用意されており、TrueType フォントを使用するよりも鮮明な印刷が可能です。バーコードフォントは、コードを入力することによって様々な規格・サイズのバーコードを生成し、印刷することができます。

コントロールフォントを使用して、キャラクタベースのコマンドを印刷ジョブに埋め込むことによってプリンタの制御をすることができます。

各デバイスフォントは、プリンタドライバにて「印刷モード」を“Line”に設定することにより使用できます。

5.1 デバイスフォント一覧

本プリンタドライバが対応するデバイスフォント一覧です。

デバイスフォントを使用する際はアプリケーションの書式設定で、フォントと正しいフォントサイズ（ポイント）を指定してください。

Microsoft Word/Excel においては、高さ 24 ピクセル＝8.5 ポイントで指定します。

◆ サーマルプリンタ用（TSP600 / TSP700 / TSP800 / TUP900 / TSP1000）

フォント名	幅 (ピクセル)	高さ (ピクセル)	印字桁数			詳 細
			104mm (832dot)	80mm (640dot)	72mm (576dot)	
Printer 17cpi	12	24	69	53	48	プリンタフォント (ANK フォント)
Printer 8.5cpi	24	24	34	26	24	
Printer 17cpi Tall	12	48	69	53	48	
Printer 8.5cpi Tall	24	48	34	26	24	
Printer 16cpi	13	24	64	49	44	
Printer 8cpi	26	24	32	24	22	
Printer 16cpi Tall	13	48	34	49	44	
Printer 8cpi Tall	26	48	32	24	22	
Printer 14cpi	15	24	55	42	38	
Printer 7cpi	30	24	27	21	19	
Printer 14cpi Tall	15	48	55	42	38	
Printer 7cpi Tall	30	48	27	21	19	
Printer 17cpi (RED)	12	24	69	53	48	
Printer 8.5cpi (RED)	24	24	34	26	24	
Printer 17cpi Tall (RED)	12	48	69	53	48	
Printer 8.5cpi Tall (RED)	24	48	34	26	24	
Printer 16cpi (RED)	13	24	64	49	44	
Printer 8cpi (RED)	26	24	32	24	22	
Printer 16cpi Tall (RED)	13	48	64	49	44	
Printer 8cpi Tall (RED)	26	48	32	24	22	

フォント名	幅 (ピクセル)	高さ (ピクセル)	印字桁数			詳 細
			104mm (832dot)	80mm (640dot)	72mm (576dot)	
Printer 14cpi (RED)	15	24	55	42	38	プリンタフォント (ANK フォント)
Printer 7cpi (RED)	30	24	27	21	19	
Printer 14cpi Tall (RED)	15	48	55	42	38	
Printer 7cpi Tall (RED)	30	48	27	21	19	
漢字全角 8cpi	26	24	32	24	22	漢字フォント
漢字横倍角 4cpi	52	24	16	12	11	
漢字縦倍角 8cpi	26	48	32	24	22	
漢字 4 倍角 4cpi	52	48	16	12	11	
漢字縦横 3 倍角 2.5cpi	78	72	10	8	7	
漢字全角 8cpi (RED)	26	24	32	24	22	
漢字横倍角 4cpi (RED)	52	24	16	12	11	
漢字縦倍角 8cpi (RED)	26	48	32	24	22	
漢字 4 倍角 4cpi (RED)	52	48	16	12	11	
漢字縦横 3 倍角 2.5cpi (RED)	78	72	10	8	7	
UPC-E	12	24	69	53	48	バーコード フォント
UPC-A	12	24	69	53	48	
JAN/EAN-8	12	24	69	53	48	
JAN/EAN-13	12	24	69	53	48	
CODE39	12	24	69	53	48	
ITF	12	24	69	53	48	
NW-7(Codabar)	12	24	69	53	48	
Control	12	24	69	53	48	コントロール フォント
ESC_FONT	1	24	832	640	576	

◆ ドットプリンタ用（SP500）

フォント名	幅 (ピクセル)	高さ (ピクセル)	印字桁数	詳 細
			63mm (210dot)	
Printer 17cpi	5	9	42	プリンタフォント (ANK フォント)
Printer 8.5cpi	10	9	21	
Printer 17cpi Tall	5	18	42	
Printer 8.5cpi Tall	10	18	21	
Printer 14cpi	6	9	35	
Printer 7cpi	12	9	17	
Printer 14cpi Tall	6	18	35	
Printer 7cpi Tall	12	18	17	
Printer 9cpi	9	9	23	
Printer 4.5cpi	18	9	11	
Printer 9cpi Tall	9	18	23	
Printer 4.5cpi Tall	18	18	11	
漢字全角 9.5cpi	9	8	23	漢字フォント
漢字横倍角 4.75cpi	18	8	11	
漢字縦倍角 9.5cpi	9	16	23	
漢字 4 倍角 4.75cpi	18	16	11	
漢字全角 9.5cpi 4 パス	9	8	23	
漢字全角 8.5cpi	10	8	21	
漢字横倍角 4.25cpi	20	8	10	
漢字縦倍角 8.5cpi	10	16	21	
漢字 4 倍角 4.25cpi	20	16	10	
漢字全角 8.5cpi 4 パス	10	8	21	
Control	5	9	42	コントロールフォント
ESC_FONT	5	9	42	

5.2 バーコードフォント

Line

バーコードフォントを選択しコード入力することによって、バーコードの生成と印刷が可能です。
バーコード印刷を実行すると、バーコードイメージを印刷し、その下に添え字が印刷されます。
バーコードイメージはアプリケーションの画面上には表示されません。

バーコードフォントは、サーマルプリンタ用プリンタドライバにて「印刷モード」を“Line”に設定することにより使用できます。

5.2.1 バーコードフォント一覧

下表の内容はサポートされているバーコードフォントの種類と使用可能な文字の種類です。

バーコードタイプ	使用可能文字桁数	使用可能な文字セット
UPC-E	12 桁	数値：0 ～ 9
UPC-A	12 桁	数値：0 ～ 9
JAN/EAN-8	8 桁	数値：0 ～ 9
JAN/EAN-13	13 桁	数値：0 ～ 9
CODE39	1 桁以上	数値：0 ～ 9 記号：-, ., <SP>, \$, /, +, % アルファベット：A ～ Z スタート・ストップコード：* (※ 1)
ITF	2 桁以上 (ただし、偶数)	数値：0 ～ 9
NW-7 (Codabar)	1 桁以上	数値：0 ～ 9 記号：-, \$, :, /, ., +, アルファベット：A ～ D

※ 1) スタート・ストップコードは自動的に入力されるため、コード入力時には指定不要です。

注記： SP500 はバーコードフォントに対応しておりません。

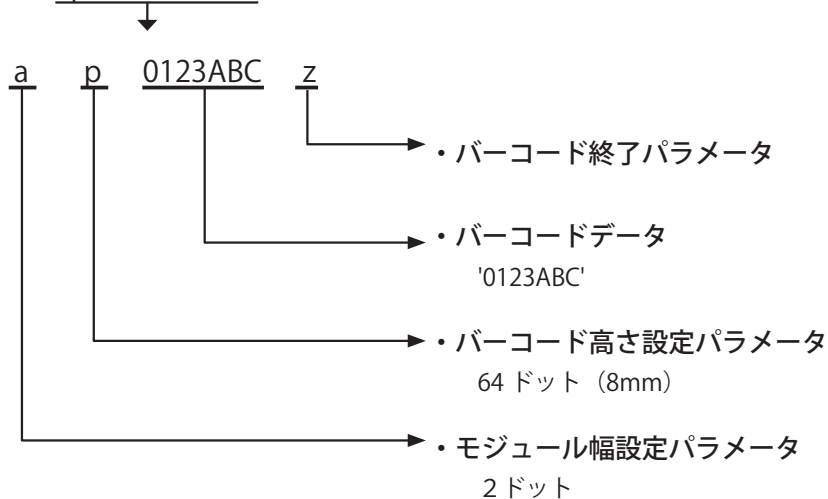
5.2.2 バーコードフォント 記述方法

バーコードフォントは、“モジュールの幅設定パラメータ”、“バーコードの高さ設定パラメータ”、“バーコードデータ”、“バーコード終了パラメータ”のフィールドからなり、それぞれのフィールドを結合して記述します。

さらに詳しい内容については、別冊の「スターラインモードコマンド仕様書」をご参照ください。

例) CODE39 (モジュール幅 2 ドット / バーコード高さ 8mm) で '0123ABC' のバーコードを生成する場合

入力データ: apABCDE67890z



印刷結果:



各パラメータの詳細は「3.2.3 バーコードフォント パラメーター一覧」をご参照ください。

5.2.3 バーコードフォントパラメーター一覧

■ 最小モジュール幅設定パラメータ

文字	UPC-E,UPC-A, JAN/EAN-8, JAN/EAN-13	CODE39 NW-7 (※1)	ITF (※1)
a	2 ドット	2 ドット (6)	2 ドット (5)
b	3 ドット	3 ドット (9)	4 ドット (10)
c	4 ドット	4 ドット (12)	6 ドット (15)
d	—	2 ドット (5)	2 ドット (4)
e	—	3 ドット (8)	4 ドット (8)
f	—	4 ドット (10)	6 ドット (12)
g	—	2 ドット (4)	2 ドット (6)
h	—	3 ドット (6)	3 ドット (9)
i		4 ドット (8)	4 ドット (12)

※1) モードの () 内の数字は、太いパターンのドット数を示しています。

■ バーコード高さ設定パラメータ

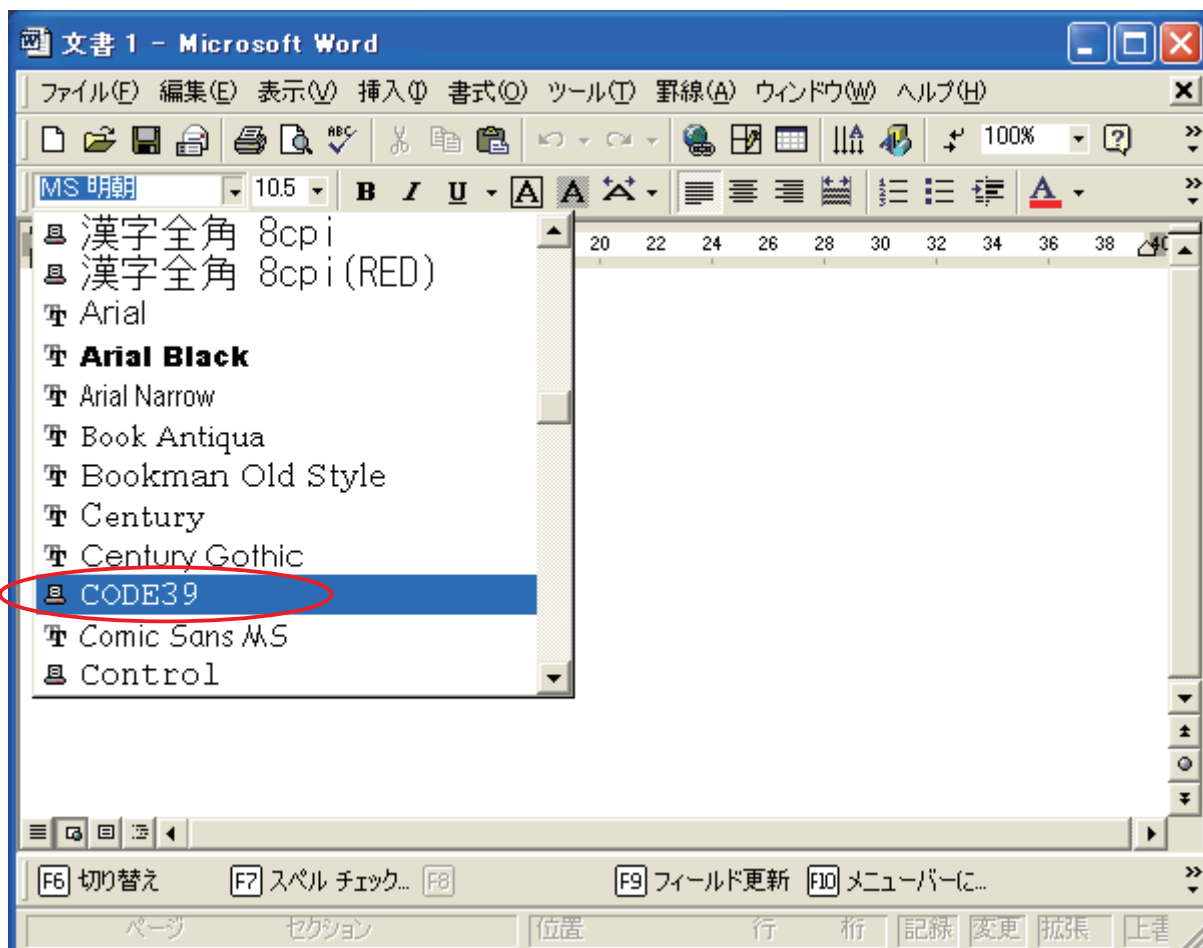
文字	バーコード高さ
o	バーコード高さ：32 ドット (4 mm)
p	バーコード高さ：64 ドット (8 mm)
q	バーコード高さ：96 ドット (12 mm)
r	バーコード高さ：128 ドット (16 mm)
s	バーコード高さ：160 ドット (20 mm)
t	バーコード高さ：192 ドット (24 mm)
u	バーコード高さ：224 ドット (28 mm)
v	バーコード高さ：255 ドット (31.9 mm)

■ バーコード終了パラメータ

文字	機 能
z	バーコードデータの終了コード (1EH)

5.2.4 Microsoft Word におけるバーコード生成手順

- ① フォントの一覧よりバーコード名のついたデバイスフォントを選択します。
以下の例では「CODE39」のバーコードフォントを使用します。



注記：合わせて「4.2 Microsoft Word を使用される際のご注意」をご参照ください。

- ② コードを入力します。
また、フォント高さの設定を行います。(CODE39 の場合は "8.5" に設定します。)



- ③ 印刷します。
印刷を実行することによって、バーコードが生成され印刷されます。

< 印字結果 >



5.3 コントロールフォント

Line

コントロールフォントを使用して、プリンタ機能を制御することができます。

プリンタドライバにて「印刷モード」を“Line”に設定することにより使用できます。

5.3.1 コントロールフォント機能一覧

下表は、コントロールフォントによって実行できる機能と制御文字の対照表です。

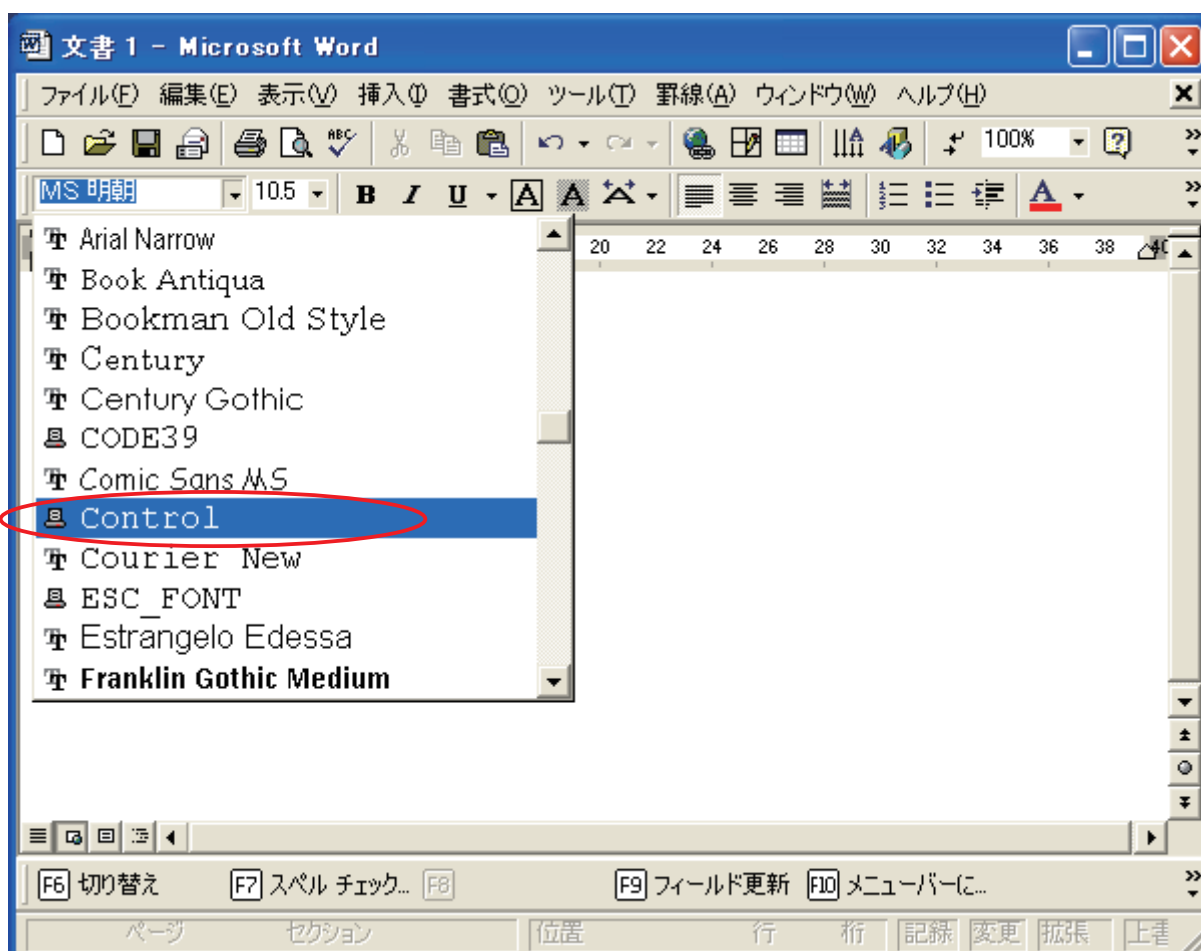
文 字	機 能
A	キャッシュドロー1の駆動（50ms 駆動）
B	キャッシュドロー1の駆動（100ms 駆動）
C	キャッシュドロー1の駆動（150ms 駆動）
D	キャッシュドロー1の駆動（200ms 駆動）
E	キャッシュドロー1の駆動（250ms 駆動）
d	キャッシュドロー2の駆動（200ms 駆動）
6	L Fの出力
7	C Rの出力
F	オートカッター：フルカット
P	オートカッター：パーシャルカット
G	N Vビットイメージ番号1：ノーマルモード印刷
H	N Vビットイメージ番号2：ノーマルモード印刷
I	N Vビットイメージ番号3：ノーマルモード印刷
J	N Vビットイメージ番号4：ノーマルモード印刷
K	N Vビットイメージ番号5：ノーマルモード印刷
Q	N Vビットイメージ番号1：横倍モード印刷
R	N Vビットイメージ番号2：横倍モード印刷
S	N Vビットイメージ番号3：横倍モード印刷
T	N Vビットイメージ番号4：横倍モード印刷
U	N Vビットイメージ番号5：横倍モード印刷
V	N Vビットイメージ番号1：縦倍モード印刷
W	N Vビットイメージ番号2：縦倍モード印刷
X	N Vビットイメージ番号3：縦倍モード印刷
Y	N Vビットイメージ番号4：縦倍モード印刷
Z	N Vビットイメージ番号5：縦倍モード印刷
[N Vビットイメージ番号1：4倍モード印刷
]	N Vビットイメージ番号2：4倍モード印刷
^	N Vビットイメージ番号3：4倍モード印刷

文 字	機 能
_	N Vビットイメージ番号 4 : 4 倍モード印刷
`	N Vビットイメージ番号 5 : 4 倍モード印刷
a	位置揃えの指定：左揃え
b	位置揃えの指定：中央揃え
c	位置揃えの指定：右揃え
e	3 mm (1 / 8 インチ) 改行の設定
f	4 mm (1 / 6 インチ) 改行の設定
g	国際文字の選択：U S A
h	国際文字の選択：フランス
i	国際文字の選択：ドイツ
j	国際文字の選択：イギリス
k	国際文字の選択：デンマーク I
l	国際文字の選択：スウェーデン
m	国際文字の選択：イタリア
n	国際文字の選択：スペイン I
o	国際文字の選択：日本
p	国際文字の選択：ノルウェー
q	国際文字の選択：デンマーク II
r	国際文字の選択：スペイン II
s	国際文字の選択：ラテンアメリカ
t	白黒反転印字の設定
u	白黒反転印字の解除
v	カスタマディスプレイ：データ転送開始
w	カスタマディスプレイ：データ転送終了
x	カスタマディスプレイ：ディスプレイクリア

注記：プリンタがサポートしていない文字を指定した場合は無視されます。

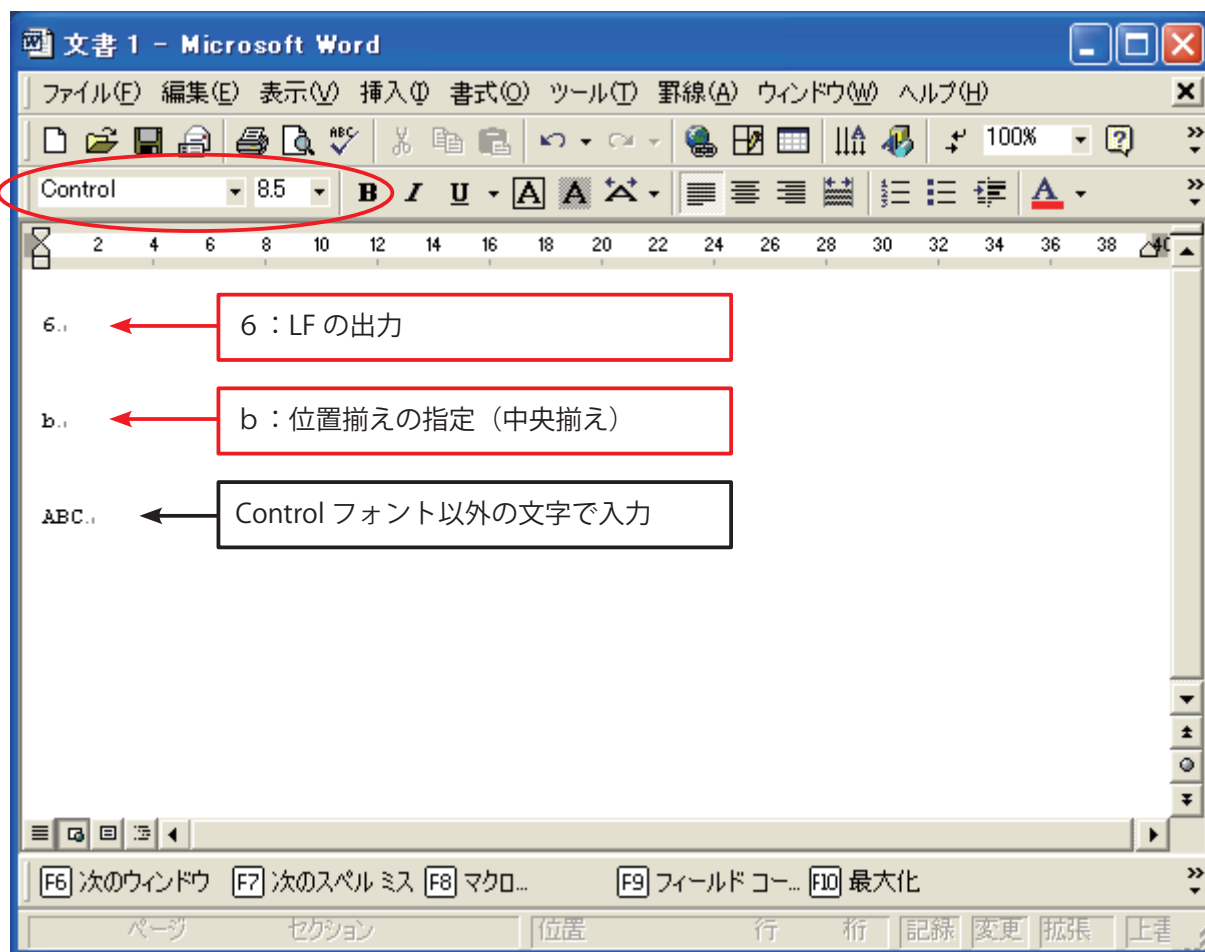
5.3.2 Microsoft Word におけるコントロールフォント使用方法

- ① フォントの一覧より『Control』フォントを選択します。



注記：合わせて「4.2 Microsoft Word を使用される際のご注意」をご参照ください。

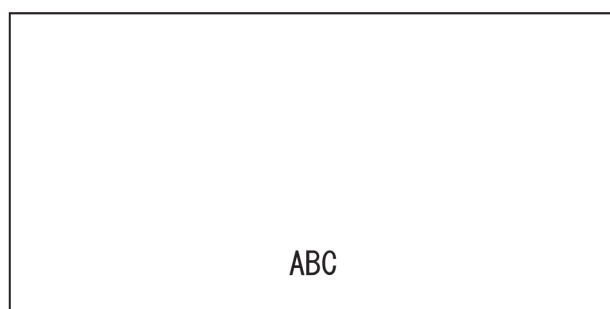
- ① 実行したい機能に割り当てられた文字（「3.4.1 コントロールフォント機能一覧」参照）を入力します。



Point! コントロールフォントを設定した文字は、フォント高さを規定値の“8.5”に設定してください。

- ② 印刷します。
この使用例の場合、一行改行後に用紙の中央に“ABC”と印字されます。

< 印刷結果 >



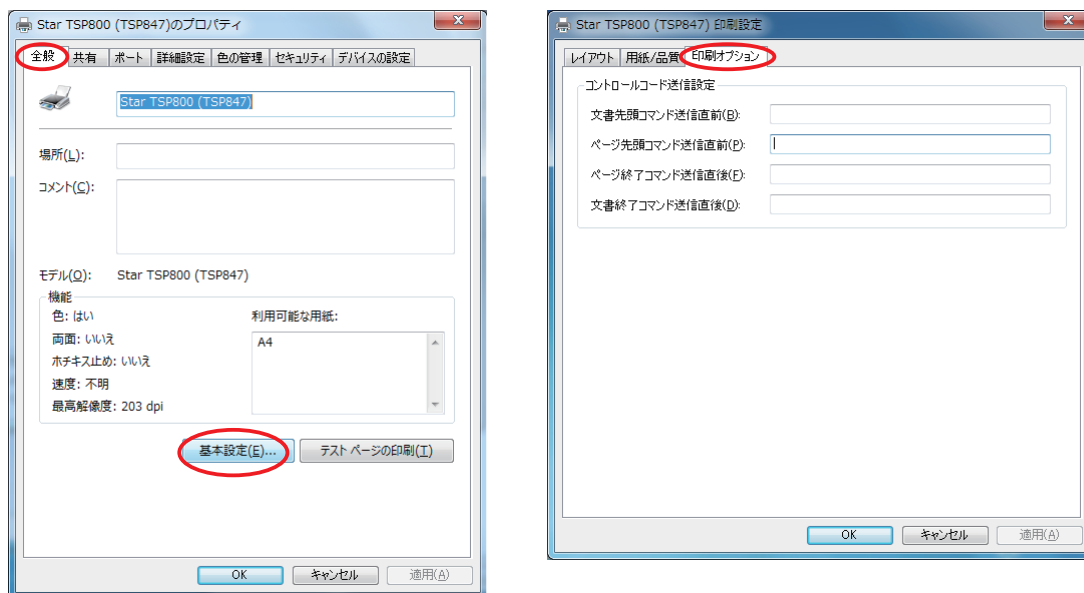
5.4 デバイスフォント 制限事項

- 同一の行では、ひとつのデバイスフォントだけを指定してください。
複数のデバイスフォントを混在させると、印刷結果にずれが生じることがあります。
- 同一の行で、デバイスフォントとグラフィックデータ（Windows フォント、罫線など）を指定しないでください。印刷結果にずれが生じることがあります。
- コントロールフォントは、文字の印刷には使用できません。
- バーコードフォントを使用した場合、“Microsoft Word”などのアプリケーションソフトの編集画面には入力されたコードの文字のみが表示されます。
バーコードイメージは印刷実行することによって印刷されます。
- デバイスフォントを利用したバーコード印刷を行なうと、正しいページ長で印刷されない場合があります。

6. 印刷オプションの設定

印刷オプションを設定することで、印刷の前後に任意の制御コマンド（コントロールコード）、または文字列を送信することができます。

印刷オプションの設定画面は、プリンターのプロパティ画面から「全般」タブより「基本設定」をクリックして開く「印刷設定画面」より、「印刷オプション」タブを開きます。



コントロールコードは以下の4つのタイミングで送信設定が可能です。

- ・文書の先頭の直前
- ・ページの先頭の直前※
- ・ページの末尾の直後※
- ・文書の末尾の直後

※「印刷モード」に「Line」設定時のみ有効です。

コントロールコードの設定は、各タイミングに対応したテキストボックスに以下のフォーマットにて入力することで行います。

文字列：	Shift-JIS にて直接入力
コントロールコード：	16 進数記載フォーマットによる ¥xhh （hh には 2 桁の 16 進数を指定）

<例>

入力：	店名 ¥x0a 所在地 ¥x0a 電話 /FAX¥x0a¥x1b¥x2d¥x31www.store-url.com¥x1b¥x2d¥x30¥x0a
印刷結果：	店名 所在地 電話 /FAX www.store-url.com

- Point!**
- ・ コマンドを入力する際は、スターラインモードコマンドを利用して下さい。
 - ・ 入力可能な文字数は、500Byte/ フィールドです。

7. ドキュメントを印刷する際のガイドライン

7.1 シリアルインターフェイスで印刷される際のご注意

7.1.1 印刷モードの確認

本ドライバからシリアルインターフェイスを使用して印刷を行う場合、以下の機種は「印刷モード」を“Line”に設定していただく必要があります。

●該当機種 : TSP600 / TSP700 / TSP800 / TUP900

注記： 該当機種をシリアルインターフェイスで使用する場合、「印刷モード」“Raster”での使用には対応していません。

また、本ドライバからシリアルインターフェイスを使用して印刷を行う場合には、プリンタドライバの設定にて「印刷モード」を“Line”に設定して使用されることを推奨します。“Line”使用時には、デバイスフォントをご使用いただくと、より高速な印字が可能です。

7.1.2 プリンタの設定とシリアルポートの設定

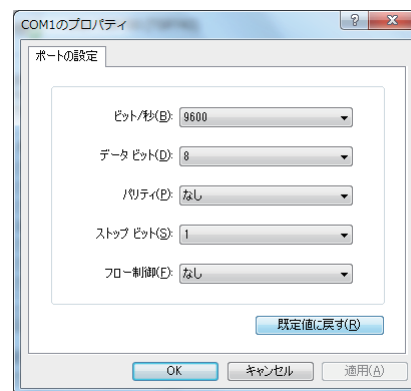
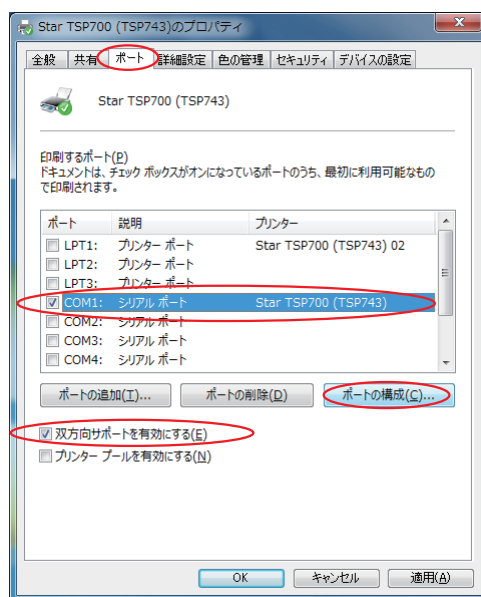
プリンタの設定とシリアルポートの設定を合わせていただく必要があります。

プリンタの設定内容は、プリンタの自己印字を行なうことで確認できます。

詳しくは別冊の「ハードウェアマニュアル」をご参照ください。

シリアルポートの設定は、以下の手順で行なってください。

- ① Windows のスタートメニューから、Windows Vista では [コントロールパネル] より [プリンタ] を、Windows 7 では [デバイスとプリンター] を起動します。
- ② 設定を行うプリンタキューを右クリックして、プルダウンメニューより、Windows Vista では [管理者として実行] - [プロパティ] を、Windows 7 では [プリンターのプロパティ] をクリックします。
- ③ Windows Vista をご使用の場合は " ユーザーアカウント制御画面 " が表示されますので、[続行] をクリックします。
- ④ プロパティ画面が開きますので [ポート] タブをクリックします。
接続するポートを選択して [ポートの構成] をクリックすると、ポートのプロパティが表示されます。
プリンタの設定内容に合った設定を行ってください。




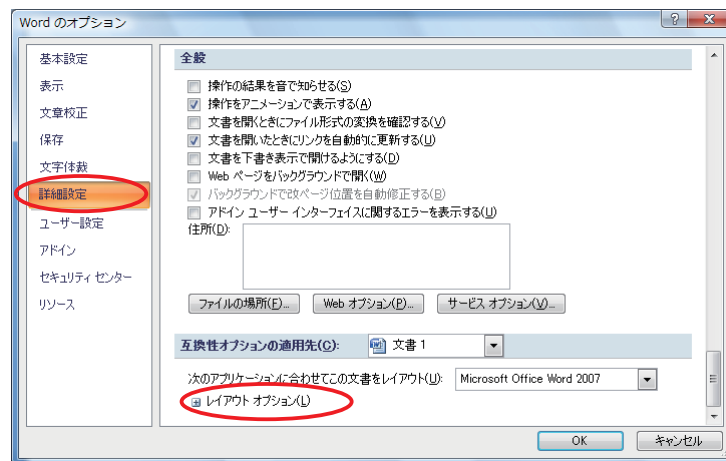
Point! シリアル接続にて『フロー制御』を『Xon/Xoff』とする場合には、「双方向サポートを有効にする」チェックを外してください。

7.2 Microsoft Word を使用される際のご注意

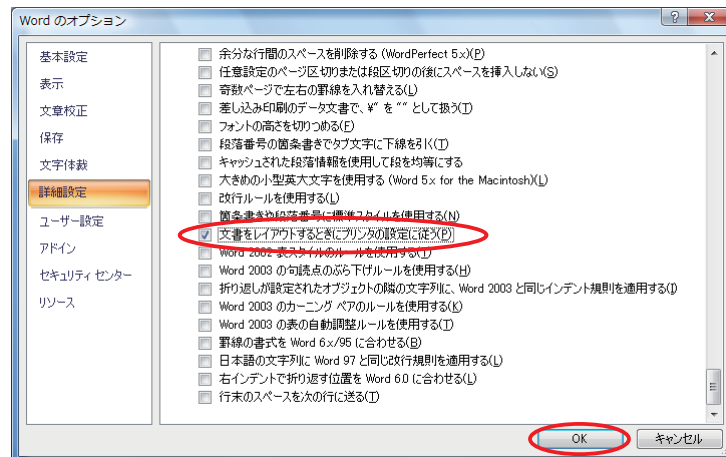
Word97 以降の文書フォーマットをそのままお使いになる場合、デバイスフォントを正しく使用できません。デバイスフォントを正しく使用されるために、次の設定を行ってください。

■ Microsoft Word 2007 を使用される場合

- ① オフィスボタン  の [WORD のオプション] をクリックして、「詳細設定」を選択し、「レイアウトオプション」をクリックします。



- ② 「文書をレイアウトする時にプリンタの設定に従う」のチェックボックスを選択後、[OK] をクリックしてください。



- ③ [ファイル]メニューの「上書き保存」を選択して文書を保存してください。

注記：ページ設定を変更すると、オプション設定が元に戻ってしまう場合があります。

8. 改訂履歴

Rev. No.	改訂年月	内 容
Rev. 1.0	Jun. 2010	新規発行



特機事業部

〒424-0066

静岡県静岡市清水区七ツ新屋 536

電話：054-347-0112 (営業直通)

<http://www.star-m.jp/dl/dl02.htm>